

カトリック山手教会月報

やまて



編集・発行 カトリック山手教会 広報委員会 〒231-8652 横浜市中区山手町44番地
 ☎ (045) 641-0735 <http://catholicyamate.org/>
 第619号 2021年9月12日

聖母被昇天 ミサ



使徒的祝福

コロナ禍の8月15日（日）11時30分より、山手教会聖堂で“聖母の被昇天ミサ”がラファエル梅村昌弘司教主司式、保久要師、鈴木真主任司祭、ダリル・サントス・ディニョ助任司祭、西村英樹助任司祭、水上健次助祭による共同司式で執り行われ、ミサの中で「平和を願う祈り～アシジの聖フランシスコの祈りより～」が唱えられました。

梅村昌弘司教 説教

聖母の被昇天 ～平和を祈って～

フランシスコ教皇は、コロナ禍の中で「エゴイズムはコロナウイルスよりも悪質なウイルスだ。世界が今必要としているのは『愛の抗体』だ」とおっしゃられたそうです。正義と平和のために必要な手立てに有効な処方箋は、「愛の抗体」を作り出すことだとの教皇の指摘を皆さんはどのように受け止めますか。

フランシスコ教皇は、かつて「戦場は、まさにわたしたちの心の中にある」とおっしゃったこともありました。「戦うべき相手は、相手にすべき敵は、外ではなく自分の中にある」ということでもあります。争いや諍い、揉めごとの多くが、わたしたちの心の中にある「そねみ（嫉み）」や「ねたみ（妬み）」に起因しているのです。嫉みや妬みをもって漢字では「嫉妬（しつと）」という文字になります。人々のこの嫉妬によってイエスも殺されたのです。聖書にはそのように記されています。

ヨハネ福音書では「祭司長たちは『わたしたちには皇帝のほかに王はありません』と答えた」と言われています(ヨハネ19:15)。律法に反する大きな罪。それも公然と。イエスの処刑を求めたのは、自分たちの意にそぐわなかったイエスに対する祭司長たちのねたみによるものでした。そのことがマルコ福音書には明確に語られています。「そこでピラトは『あのユダヤ人の王を釈放してほしいのか』と言った。祭司長たちがイエスを引き渡したのは、ねたみのためだと分かっていたからである。祭司長たちはバラバの方を釈放してもらおうように群衆を扇動した。』(マルコ15:9)。

祭司長たちに扇動され、罪なき者を「十字架につける」と叫んで死に追いやった群衆の姿。一握りの人間に扇動され戦争へと突き進んで行った戦前の市井の人々の中にもこのような姿を見いだすことができるような気がします。戦前、戦意を煽った人々が実際に存在したのです。通常では考えられないような暴力や非人間的な行為へと人々を駆り立

てた戦争。まさに「戦争は人間（われわれ）のしわざ」なのです。1981年、ヨハネ・パウロ二世教皇が来日の時に広島平和公園でなされた平和アピールでおっしゃったとおりです。

「ピカは人が落とさなきゃ落ちてこん」という言葉をご存知ですか。広島の丸木スマという人の言葉です。自ら描いた絵本の最後に記されている言葉です。丸木スマの息子、丸木位里は画家でした。その妻、俊と一緒に描いた「原爆の囃」という絵があり、埼玉県東松山市にある丸木美術館というところに展示されています。「ピカは人が落とさなきゃ落ちてこん」。ヨハネ・パウロ二世教皇の「戦争は人間のしわざです」という言葉と相重なります。

戦争は特別な人ではなく、わたしたちとまったく同じ普通の人間がなし得る、人間の業なのです。「殺せ、殺せ、十字架につけろ」。この言葉には、指導者たちによって戦争に巻き込まれ、理性を失い、真理を見失ってしまった人々の根源的な罪が表されているように思います。

神は、みことばをとおして人間が真理に立ちかえるよう回心へと導かれます。自分の周りの多くの人が悪に向かおうとしている時、特に国家として戦争に向かおうとしている時にこそ、みことばの変わらぬ真理を見つめ直す必要があるのではないのでしょうか。

神の真理だと上段に構えても人はなかなか耳を傾けようとはしません。人は愛されることによって心動かされ、その愛に満たされることによって確実に変えられて行くのです。愛をもって生きる時、何か確実に変わっていくことがわかります。イエスの弟子たちは、イエスとの出会いによって神の愛にふれ、まったく新しい生き方へと導かれて行きました。自分を第一として生きる生き方から他者のために共に生きようとする生き方に変えられて行ったのです。平和の実現のためには何よりも「愛」が欠かせません。

最後に心がほっこりとするエピソードをご紹介します。幼稚園のお話です。園児が何かを踏んで痛がっていました。それを見た先生がその子をそっと撫でながら「いたいの、いたいの、遠くのお空に飛んで行け！」と言いました。するとその園児は「お空はダメだよ。おじいちゃんがいるんだから」と

言ったそうです。大好きなおじいちゃんが最近亡くなったそうです。先生はあわてて「いたいの、いたいの、お外の遠くに飛んで行け！」と言い直したそうです。先生が残した最後の言葉。「園児のあまりの優しさに涙があふれてしまいました」という極めつけの言葉です。フランシスコ教皇がおっしゃったように、わたしたちもしっかりと心の中に「愛の抗体」を作らなければと思います。

(撮影：編集部 土方芳人)

司祭の横顔に近づく！インタビュー企画②

助任司祭 ダリル・サントス・ディニョ師 編

Q：好きな食べ物は何でしょう。

A：柔らかくて甘いもの(笑)。パン、蕎麦、いいですね。来日してから味噌ラーメンが好物になりました。味噌といえば、自分で作る朝食に、味噌味スクランブルエッグがよく登場します。これが、おいしいんです。味噌と玉子は合いますね！肉か魚かと聞かれれば肉が好きと答えますが、今は健康のために魚を食べるようにしています。そして夕飯になるべく白飯を食べないようにしています。

Q：料理はしますか。

A：ドバイ時代は自炊していたので料理はできます。フィリピン家庭料理の「アドボ」が得意です。酢を使ったシンプルな煮物です。

Q：お酒は召し上がりますか。

A：特別な日や友達とは、お酒を楽しみます。よく飲むお酒はビールやライムサワーです。タバコは吸いません。紅茶よりコーヒー派でミルクと砂糖を入れて飲みますが、飲むといっても朝食の時くらいです。

Q：苦手な食べ物はありますか。

A：あるかもしれませんが、出されたらなんでも食べるので、よくわかりません(笑)。とにかく来日してから初めて食べるものが多いです。鰻も刺身も魚卵も貝類も食べたことがありませんでした！

Q：好きな色は。

A：白と青です。清潔だし、かっこいいと思いませんか。あ、今日のシャツも白と青の格子柄ですね。これは偶然です(笑)。赤やピンクは似合わないし。(笑)

Q：祭服の赤やローズ色もお似合いですよ。

A：え！そうですか…？！

Q：好きな季節は。

A：夏以外！(笑)。暑いのが

苦手、日本の秋が大好きです。赤やピンクも似合うと聞いて照れるダリル師風景を楽しみます。

特に“かえで”の木にひかれます。秋を感じる美しい自然の中に身を置くと、心からリラックスできます。

Q：動物はお好きですか。

A：それほど興味はありません。と思っていたのですが、最近気になる子がいるんです。修道院での朝ミサの後、近隣の家窓辺に座ってこちらを見ている柴犬と毎回目が合うのですが、たまらなくかわいい。体つきも顔もいいんです。今日もいるかな？今日もいた！と、あの子に会えるのを楽しみにしている自分を発見しました。今まで犬には興味がなかったのに不思議なことです。

Q：スポーツに親しみはありますか。

A：もともと運動好きではありませんが、バスケ、バレエ、バドミントンは経験があります。今はテニスに少々興味があります。近頃は、散歩をよくしています。お腹周りの健康のために(笑)。山手町界わいはもちろん、みなとみらい方面にも足を伸ばします。好んでよく行くのが根岸森林公園です。季節も自然も感じられて気持ちの良い場所ですね。

Q：テレビはよくご覧になりますか。

A：ニュース番組を見る程度です。

Q：PCやスマホなどIT機器はお好きですか。

A：好きです。ですが、趣味にするには高額ですね。InstagramとFacebookはやっていますが、今のところ単に連絡手段です。

Q：乗り物はお好きですか。

A：フィリピンのJeepneyをご存じですか。もっとも一般的な移動手段である乗合タクシーで、車体はとてもカラフルで料金も安くて快適なんです。フィリピンの文化と芸術を象徴しているといってもよいと思っています。



赤やピンクも似合うと聞いて照れるダリル師

Q：好きな音楽は。

A：散歩しながらイヤホンで時々聴くのはクラシックです。好きな聖歌は？と聴かれたら「Salve Regina (サルヴェレジナ)」です。神学校では聖母マリアへの歌をささげて一日を締めくくっていました。疲れた魂を慰める歌です(冒頭部分を歌うダリル師)。



毎日ビデオ電話で話しています、と語るダリル師とご両親

Q：最近泣きましたか。

A：昨年、両親が結婚50周年を祝いました。教会の通路を歩く2人を見て私は泣きました。

Q：ぼーっとするのと、活動するのとどちらが好き？

A：柔らかいパンとジュースを食べながらぼーっとしているのが本当は好きですが、お腹周りのために活動するようにしています。(笑)

Q：最近、大笑いしたことはありますか。

A：今です！

助任司祭 西村 英樹師 編

Q：好きな食べ物は何でしょう。

A：肉の脂身と炭水化物です！特に豚肉と白菜が好きなので、回鍋肉は好物です。鍋物もいいですね。最近食事で気をつけているのはゆっくり味わって食べるということです。つい作業のように早食いしちゃうんです。嗜好といえば食べ物ではありませんが、たくさんは吸わないものの、タバコが好きです。電子タバコよりも紙巻。葉巻もいいですね。受洗した教会の神父様がカナダ人で、いつもパイプをふかしていたせいか、司祭像とパイプが一致する印象です。私も年を重ねて、いつかパイプに手を出してみたいな、なんて思っています。

Q：食品類はどのように保管されているのですか。

A：共有冷蔵庫内に各人の名前が貼ってあって、そこに保管しています。人のを食べたりしません。(笑)



赤ちゃんモデルをしていた頃(おむつの広告ポスターから)

Q：お酒は召し上がりますか。

A：大のウイスキー党です。特にバーボン、ワイルドターキーが好物です。醸造酒よりも蒸留酒派。焼酎やホッピーも飲みます。日本酒やワインはどうも体に合わないようです。

Q：好きなこと、苦手なことはありますか。

A：高いところが苦手なんです。子どもの頃から怖いなあとは思っていたんですが、男子は何かと見栄を張らなくてはいけなかったので(笑)。はっきり認識したのは、社会人になって仕事で鉄塔に登った時です。観覧車も怖いです！そして方向音痴です(笑)。得意なことはハンダ付け。かなり美しく素早くできると自負しています(笑)。好きなのは、子どもたちと遊ぶことです。コロナ禍が落ち着いたら教会学校の子どもたちとたくさん遊びたいです。

Q：好きな季節は。

A：若い頃は夏でしたが、今は秋ですね。

Q：好きな色は。

A：ネイビー、黒、赤、オレンジ色が好きです。柄物はあまり着ないです。

Q：動物はお好きですか。

A：パンダが好きです。

体系的に親近感がわくので。(笑)

Q：乗り物はお好きですか。

A：自分で運転できるものが好きなので、車でしょうか。バスや電車は好きではありませんが、飛行機は好きです。いつも翼のすぐ後ろの席を指定します。

Q：お好きな聖歌は。

A：「主は豊かなあがないに満ち」(典117)です。

Q：司祭になってからの司牧で何か変化は。

A：ミサ説教用に原稿を書かなくなりました。原稿を練ることで論理的になりすぎる気がして、メモ程度にとどめ、あとは自然に任せるようになりました。

Q：司祭になって後ろを振り返ると何か見えますか。

A：あの時、あの場所で、背中を押されるように呼びかけの声に応えたことを不思議に思いますが、今思えば、道はつながっていたのだ、という気がしています。それまでの違和感は、そういうことだったのかと。司祭になってみたら、自分の弱さに直面す



ご実家に飾られている写真立てから、お姉さまと

ることは相変わらず多々ありますが、恵みに感謝する気持ちに満たされています。

Q：神学院での同期生とは、どういう存在ですか。

A：6年間、同じメンバーが変わらず一緒だったわけではないのですが、そのうちの一人とは最初のうちは人生経験もまるで違うし仲も悪く、お互いに嫌っていた時期がありました。しかし、今では、もっとも信頼できる間柄になりました。よく揉めたけど理解も深まった。全部出して受け入れあったんですね。

Q：横浜教区は司祭召命が続いていますね。

A：なぜ志願者が続くのかは不思議なことですが、そういう人間をすくい上げる温かさや器の大きさが、司教様にはおありになるし、受け入れてくれる風土が横浜教区にはあるのだと思います。

Q：行ったことのある国、行ってみたい国は。

A：ヨーロッパには、よく行きました。World Youth Day 2011 でマドリッドに行ったことも、その後の司祭への道につながったので、思い出深いです。いつかギリシア、イスラエルに行ってみたいです。

Q：国内旅行先の思い出はありますか。

A：高専卒業時に、京都・高知・鹿児島島の坂本龍馬ゆかりの地を巡る旅をしました。

Q：夜はぐっすり眠れていますか。

A：枕や天井が変わると寝られないタイプです。夢はよく見ます。いつだったかクリントイーストウツドの誕生日会に招かれました。(笑)

Q：アウトドア派、インドア派どちらですか。

A：あえて言えばインドア派かな。旅行の計画を立てるのがあまり好きではないので、行き当たりばったりの旅がいいですね。神学院の中庭で火をおこしてよく肉を焼いていました。バルコニーで一服しながら音楽をかけてお酒を飲むのもいいですね。海か山かと聞かれたら、海です。カブスカウト時代も、山登りは楽しかったのですが、うっそうとしている場所が苦手で、開けた海や湖が好きでした。

Q：「マイブーム」はありますか。

A：最近ご無沙汰していますが、ダーツです。神学院では毎日のようにやっていました。

Q：最近泣いたこと、大笑いしたことはありますか。

A：お酒が入ると涙もろくなります。そういえば、最

近お腹を抱えるような大笑いをしていないですね。

Q：ぼーっとするのと、活動するのとどちらが好き？

A：ぼーっとするのが好きです！せっかちなので、何かしていると、とにかく早く終わらせたくなんです。目の前の目標に集中してしまって、それに疲れてしまう傾向があるようです。

まだまだ書き足りないほど話題は尽きず、笑いに満ちた楽しいインタビューでした。お二人の神父さま、ありがとうございました。

(編集部 田中麻子)

高校生夏の一日企画



保久師、谷脇師、鈴木師、水上助祭と一緒に

台風による影響も心配されたが、8月8日(日)14時から、横浜教区青少年委員会主催によるイベントが予定どおり行われた。山手教会の教会ホールで行われた企画には、高1から高3の高校生10人が参加した。例年、夏休みには教区内の学校や教会施設を借りて3泊4日の合宿が行われているが、今年は新型コロナウイルスの感染状況に懸念があったため、感染対策を講じ半日での開催だった。

数十分のアイスブレイク(緊張をほぐすための自己紹介ゲーム)の後、私たちは2つのグループに別れ、さまざまなゲームを楽しんだ。ゲームの最後で共同制作するホログラム用(3Dのようなもの)写真を撮影する際に使用する、夏らしい小道具(例えば浮き輪やアロハシャツ)をゲットするための熾烈な戦いだ。チーム対抗のクロスワードや、なぞなぞ、計算早押しクイズなどを経て勝ち取った小道具を持って撮影した写真は、スタッフの素晴らしい編集技術によりホログラムに変化した。スターウォーズを彷彿とさせるそのホログラムは、ノートパソコンやiPadなどの液晶画面の上に、逆さまにした四角

錐のパネルを置いて反射させることによって浮かび上がらせ、立体的に見える映像表現だ。



ホログラム用撮影映像

コロナの影響で楽しい合宿をすることはできなかったが、夏らしいことができ、とても充実した3時間だった。スタッフの皆さま、ありがとうございました。

(写真提供：横浜教区青少年委員会)

文：高校3年 田中汐麗)

スカウトの道

山手教会の信徒の皆様、いつもボーイスカウトにご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。本来ならば、この時期は夏季キャンプを行う予定でしたが、昨年引き続き今年も新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が発出されたため中止となりました。

信徒の皆様にはスカウトのことをより知っていただくために『スカウトの道』について述べさせていただきます。

ボーイスカウトの創始者バーデン・パウエルは1941年に亡くなったのですが、その後、彼の書き物の中から世界のスカウトにあてたラスト・メッセージ(最後の手紙)が見つかりました。



創始者バーデン・パウエル氏

その内容を要約しますと「わたしは非常に幸福な人生を送ったので、君たちにも同じように幸福な人生を歩んでもらいたい。神は私たちに幸福に暮らして楽しむように素晴らしい世界をおくってくださった。金持ちになっても、社会的に成功しても、それによって幸福にはなれない。少年のうちに、健康で強い体をつくっておくこと、自然研究をして神が君たちのために美しい素晴らしい世界を造ってくださったことを知ること、現在与えられていることに

満足し、希望を持つこと。しかし、幸福を得る本当の道は、他の人に幸福を分け与えることにある。この世の中を少しでも良くすることができるよう努力し、幸福に生きて幸福に死ぬことができるように、この考えにしたがって『そなえよつねに』を忘れずに大人になっても『ちかいとおきて』を堅く守りたまえ」
私たちは、このラスト・メッセージを大切に「ちかいとおきて」の実践に努力することを『スカウトの道』としています。

「この道は遠くて、はるかな道、だけど私は好き。私が選んだ道だから、ただ一筋にこの道に行く」
(写真：ボーイスカウト日本連盟HPより
文：ボーイスカウト横浜第34団 団委員長 関利定)

合葬墓が完成しました

念願の合葬墓が（猛暑による植栽工事の延期を残し）2021年8月21日に完成し、11月6日（土）午後2時に初の合同納骨式が行われることになりました。

山手教会の信徒の方とその二親等以内の方、またすでに山手教会の墓地などをご利用の方は、合葬墓を利用することができます。埋葬、改葬をご希望の方は次の要領でお申し込みください。

① 納骨の申し込み

新規の利用

山手教会の墓地など(山手墓地、相沢墓地、納骨堂)を利用されていない方で、新規に申し込まれる方の利用料金は一体15万円(埋葬時献金含む)です。

また、二親等以内の親族がすでに山手教会の墓地など(山手墓地、相沢墓地、納骨堂)を利用されている方で、合葬墓の利用を新規に希望される方の利用料金は、一体3万円および埋葬時献金2万円です。

改葬

山手教会の墓地など(山手墓地、相沢墓地、納骨堂)を利用されている方で、それら墓地などからの改葬を希望される方は、一体当たり3万円(ただし、5体以上は一律15万円)および1回の改葬あたり埋葬時献金2万円。

上記以外の墓地からの改葬は一体当たり15万円埋葬時献金含む)。

② 銘板彫刻の希望

ご遺体の名前の銘板への彫刻をご希望の方は、お申し出ください。

③ 当日の準備

合葬墓への納骨は、既定の袋に収め、当日ご持参ください(袋は教会事務所で、実費でお分けしています)。

なお、申し込みの受付開始は10月1日です。申込書は事務所に用意されていますので、ご記入のうえ、お申し込みください。

(墓地委員会 委員長 村田隆裕)

2021年8月度教会委員会議事要約

日時：2021年8月1日(日) 13:00～16:00

場所：教会ホール

議事内容（議事進行：太田委員長）

1 主な審議確認検討事案 ※順不同

(1) 墓地委員会より報告

- 合葬墓にモニュメントが設置され、8月14日までに大きな工事は終了の予定。
- ただし、14日以降に床や通路などの微調整を行うため、工事業業者の出入りはあるが、お参りについては、影響しないものとする。
- その他の残りの作業として植栽があるが、今の季節では、根付かないため、11月までに実施する。

(2) 今後のミサと教会活動についての課題

- 緊急事態宣言の発出に応じて会衆なしのミサを行うとしてきたが、今回の緊急事態宣言では、どのように対応するのか。
- 意見を聴取のところ、現状維持（人数制限による現状維持）と会衆なしにすべきとの意見は、半々であった。

【決定事項】

- 現時点では、現状維持として会衆ありのミサを継続する。ただし、感染者の状況に応じて、司祭と三役で協議して判断する。
- 8月は教会活動を原則として休みとする。
- 8月中はミサ中の聖歌は、なしとする。
- (3) 山手教会事務所のIT環境整備についての提案
 - 教会のIT環境の最重要部分として事務所の整備

について案を作成した。

- 事務所は、信徒の個人情報や金銭の管理などを行うため、セキュリティ面での十分な対策も必要。

【決定事項】

- ・ 事務所のヒアリングなどを行い、業務に支障のない形で検討を進める。

(4) その他

【設備に関する報告】

- 教会の受電設備について関東電気保安協会から漏電対策に不備があるとの指摘があり、漏電事故が発生した場合、近隣の住宅にも被害が及ぶ波及事故の可能性を指摘された。受電設備以外に対策を検討すべきものがないか引き続き検討する。
- 駐車場出口の門柱にタクシーが接触する事故があり、一部破損した。修理費用はタクシー会社に請求する予定。
- 造園事業者から司教館側の桜の木について良い状態ではない旨指摘された。すぐに問題が起こるということではないが、今後、対応を検討する必要がある。
- 営繕で要員の増強が必要。推薦などあれば、ぜひ、お願いしたい。
- 聖堂の第2期修繕工事については、令和4年4月1日に着工の予定で進めている。聖堂工事にあたって、聖堂の閉鎖の対応など早めに検討していただきたい。

→ 来年は4月17日（日）が復活祭となるため、それを踏まえて検討を行う。

2 今後の活動

報告なし

3 報告事項：振り返り・気付き

【福祉委員会からの報告】

- ギッフェリの布草履の販売では、皆様のご協力ありがとうございました。
- 予想以上に好評だったことから、ポスターを作成し今後も購入の機会を設ける。
- 福祉委員会の委員長を大森秀樹氏に引き継ぐ。

【教会学校からの報告】

- 7月11日（日）13時から「子どもとともに、ささげるミサ」を行った。
- 参加者65人のうち、低学年は親子での参加となり、「参加してよかった」という意見を多くいただいた。今後も信徒ではない方にも積極的に

参加を呼びかける。

【ロザリオ会からの報告】

- 7月のロザリオ会主催のミサに、横浜みこころ幼稚園の教職員にも参加いただいた。
- 7月2日（金）は、職員が休みとなっているため参加することができた。参加した職員は、感激しており、幼稚園として大変感謝している。

【横浜みこころ幼稚園からの報告】

- 夏休みを利用して幼稚園のフェンスなどの工事を予定している。諸々の制約から、土・日を工事日とせざる得ない状況であり、8月21日（土）および22日（日）に工事を行う。

【財務委員会からの報告】

- 例年、10月に次年度の予算をまとめている。来年度に大きな出費などの計画があれば事前に財務に連絡してほしい。
- 聖堂の修繕工事について、横浜市に対し支援要請のための手続きを継続して実施している。

【事務所からの報告】

- 9月22日（水）9:30～16:00、山手教会で「霊性センターせせらぎ」による日帰り黙想会が予定されている。これについてどう判断するか。
- 9月の状況については判断できないため、9月の教会委員会で検討して決定する。

【情報システム委員会からの報告】

- ミサの動画配信について著作権に関する懸念がある。他の教会とも連携しつつ適正に対処を検討する。

4 主任司祭から

- 教区の高校生の集いを8月8日（日）に予定。
- 教区学連（大学生の活動）の集まりを、8月29日に予定。
- 「子どもとともに、ささげるミサ」で絵本を読んだが、見えないという子どもたちがいた。投影機について横浜雙葉学園から情報をいただいたので調べてほしい。

→ 情報システム委員で確認する。

- 横浜教区に在籍する青年有志による『Peace be with YOU』（被災地支援のグループ）によるロゴ入りのマスクを作ったので販売する。

5 次回教会委員会

9月5日（日）13時00分～15時30分予定。

（総務担当 宮 裕一）

2021年9月・10月主日ミサの聖歌および奉仕者予定表

	主 日	聖 歌 (歌わずに章句を唱えます)			聖 歌 隊	時 間	奉 仕 者				ミサ参加 割当
		答唱詩編	アレルヤ唱				オルガン	先 唱	聖書朗読		
9月19日	年間第25主日	典8 ①②	典270 25B			前日pm5:00	太 田	山本(康)	工藤(元)	志 村	未定
						7:30	渡 邊	末 澤	田 口	細 谷	
						11:30	米 沢	村田(義)	池 田	上 瀧	
26日	年間第26主日	典124 ①③④	典273 26B			前日pm5:00	忠 海	田中(麻)	佐藤(篤)	阿 部	未定
						7:30	米 沢	二 宮	東海林	津久井	
						11:30	手 塚	藤原(ま)	川 田	大 島	
10月3日	年間第27主日	典103 ①②	典270 27B			前日pm5:00	藤 沼	竹之内	新井田	島田(節)	未定
						7:30	手 塚	石 川	島田(啓)	石 賀	
						11:30	米 沢	佐藤(篤)	後 藤	紀國谷	
10日	年間第28主日	典52 ①④⑤	典273 28B			前日pm5:00	村 松	斎 藤	鈴木(明)	福 田	未定
						7:30	中 川	二 宮	柳 川	神 近	
						11:30	佐 藤	遠 藤	川 田	木 原	
17日	年間第29主日	典46 ①④⑤	典270 29B			前日pm5:00	村 松	山本(康)	工藤(元)	志 村	未定
						7:30	渡 邊	末 澤	田 口	細 谷	
						11:30	手 塚	村田(義)	池 田	上 瀧	
24日	年間第30主日	典154 ①②③	典273 30B			前日pm5:00	忠 海	田中(麻)	佐藤(篤)	阿 部	未定
						7:30	太 田	亀 井	東海林	津久井	
						11:30	中 川	藤原(ま)	川 田	鈴木(理)	
31日	年間第31主日	典64 ①③⑥	典270 31B			前日pm5:00	忠 海	吉 川	遠 藤	櫻 井	未定
						7:30	太 田	時 久	花 田	石 井	
						11:30	米 沢	曾 禰	小 松	荻 原	

(注) ・コロナ禍による緊急事態宣言が続いているため、暫くの間ミサは一般信徒不参加の可能性もあり、ミサ参加割当は未定です。
 別途「教会からのお知らせ」に従ってください。
 なお、ミサ中の聖歌(上記)は歌いませので応唱句などは皆さん静かに唱えてください。
 ・「子どもとともに、ささげるミサ」は当分ありません。

編 集 後 記

4カ月くらい前から2羽のカラスと不思議な関係が続いています。カラスの種類はハシボソカラスで、体形から雄と雌のようです。わたしがマンションで階段を利用したトレーニングをしていると、どこからともなく2羽のカラスがやってきて、わたしに、ちょっかいを出すのです。わたしの部屋は最上階の10階の階段前にありますが、カラスは、いつも10階と9階の階段踊り場の手すりに止まり、階段を上り下りする、わたしの様子を眺めています。特に好奇心が強いのが雄で、部屋の前で汗を拭いていると踊り場から10階に上がる手すりに飛び移り、次に、わたしから2mくらいの階段に来てわたしを見つめます。わたしが再び階段を下り始めると踊り場の手すりに飛び移り、わたしが踊り場に行っても逃げることもなく、わたしが9階に下りて行くのを見送るのです。踊り場は外階段のため狭く、通り過ぎるときのカラスとわたしの距離は50cm程度です。1階まで下りて、再び10階に戻ってくると近くで遊んでいたカラスも、あわてて踊り場に戻って来ます。毎日、体の部位別筋トレを終えてランニングや階段トレーニングをするために部屋から外へ出るのが午後4時30分ごろなのですが、最近では階段の踊り場でカラスが待っていることもあります。階段トレーニングでは階段を6往復しますが、カラスは、いつも同じ動作を繰り返し、トレーニングを終えて、わたしが部屋に入るのを2羽で見送ってくれます。カラスは、わたしと遊びたいようです。(土方芳人)

☆表紙のカット(山手教会)は、濱尾文郎枢機卿様の「えはがき」です。